

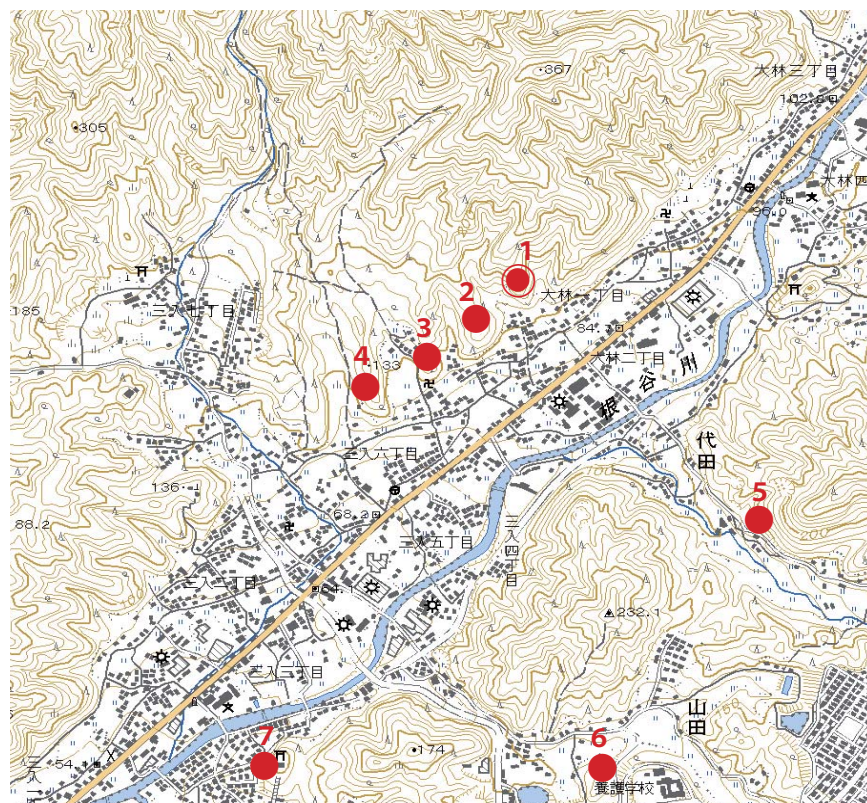
ことひらこふん
琴平古墳発掘調査通信
こんぴらさん 第1号

(財) 広島市文化財団文化科学部文化財課

ことひらこふん
 ○**琴平古墳の発掘調査が始まります。**

三入一大林地区では、これまでに可部バイパスの建設工事予定地内^{とんがぼうじょういせき}でトンガ坊城遺跡(弥生時代後期から古墳時代初頭のムラの跡・中世の山城跡)、坊主山遺跡^{ぼうずやまいせき}(弥生時代後期の集団墓地)、柳遺跡^{やなぎいせき}(弥生時代後期のムラの跡)の発掘調査が行われてきました。こうした調査により、三入一大林地区の弥生時代などのようすも徐々に明らかになってきています。

今回の琴平古墳の発掘調査が、工事予定地内での最後の発掘調査となります。発掘調査は、国土交通省から委託を受け、(財) 広島市文化財団文化科学部文化財課が行います。調査期間は、平成21年5月11日から同年夏頃までを予定しています。



琴平古墳と周辺の遺跡

1. 琴平古墳 2. 柳遺跡 3. 坊主山遺跡 4. トンガ坊城遺跡
 5. 高谷古墳 6. 山田古墳群 7. 丸子山遺跡

○**琴平古墳ってどんな遺跡？**

琴平古墳のある尾根の上には、最近まで小さなお社(琴毘羅社)が建っていました。このお社を建てる時に鉄刀が出土し、古墳の埋葬施設に使用した石材は神社の礎石になっていると伝えられており、遺跡の存在は分かっていました。

今回の調査に先立って行われた試掘調査では、すでにお社で尾根の上が造成されていることから、古墳の痕跡は確認できませんでした。しかし、お社で造成されたさらに下から、弥生時代のものと考えられる墓壙(墓穴)が複数見つかっています。このことから、琴平古墳には坊主山遺跡と同じような弥生時代の集団墓地もあると思われます。



空から見た琴平古墳

琴平古墳と並ぶバイパス建設工事予定地内の尾根上には、これまで調査をしてきた3つの遺跡(トンガ坊城遺跡・坊主山遺跡・柳遺跡)が並んで位置しています。



いせき
遺跡とは？

村や墓地、役所や城など、昔の人々の様々な活動の跡を遺跡といいます。

琴平古墳発掘調査に関するお問合せ

財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課

広島市東区光町二丁目15番36号 TEL082-568-6511

ホームページ <http://www.mogurin.or.jp> メール hbb@mogurin.or.jp

発掘調査現場直通 090-9468-1060